



# 地域の記録を

# 守り伝える

## 公文書館の課題と未来

伊藤一晴 (国立公文書館公文書専門官)

「アーキビストの職務基準書」の作成経緯と概要

三輪宗弘 (九州大学附属図書館付設記録資料館教授)

何を残すべきなのか—熊本県公文書への私のチャレンジと日本への提言

矢切努 (中京大学法学部准教授)

地方公共団体における公文書館の現状と課題—公文書館専門職の経験を通じて

コーディネーター

高橋明男 (大阪大学アーカイブズ室長、法学研究科教授)

二〇一九年 三月一八日〔月〕14時—17時 大阪大学会館21世紀懐徳堂スタジオ

申込み・問合せ先 大阪大学共創機構社会学共創本部セミナー担当事務局 info-ucc@ml.office.osaka-u.ac.jp

主催 大阪大学共創機構社会学共創本部 企画制作 大阪大学アーカイブズ / 大阪大学21世紀懐徳堂



参加費 無料

定員五〇名(申込先着順)

公文書館（アーカイブズ）とは、その名の通り公文書を保管し、公開する機関・施設のことを指します。地方公共団体が保有する公文書は、情報公開条例や個人情報保護条例によって閲覧することができませんが、公文書は定められた保存期間が過ぎると廃棄されてしまいます。そこで、保存期間満了後も重要なものを特定歴史公文書として保存する公文書館が、後の閲覧・検証を可能にするための重要な役割を担っています。また、民間所蔵の歴史文書をよい状態で保存することも公文書館の重要な役割です。本セミナーは、ゲストに国立公文書館の伊藤一晴公文書専門官、九州大学附属図書館付設記録資料館の三輪宗弘教授、中京大学法学部の矢切努准教授を迎え、アーキビスト職務基準、保存文書選別など、地方公共団体の公文書保存の現状と課題を討論し、大学と地方公共団体、公文書館の共創によって社会に何をもちたることができるか、その可能性を探ります。

プログラム

14時 開会の挨拶 永田靖（大阪大学副学長・社会学創成部長）

14時5分 基調講演

伊藤一晴 「アーキビストの職務基準書」の作成経緯と概要

三輪宗弘 何を残すべきなのか

— 熊本県公文書への私のチャレンジと日本への提言

矢切努 地方公共団体における公文書館の現状と課題

— 公文書館専門職の経験を通じて

15時45分 休憩

16時 パネルディスカッション「地方公共団体の公文書保存は、今」

登壇者

伊藤一晴（国立公文書館公文書専門官）

三輪宗弘（九州大学附属図書館付設記録資料館教授）

矢切努（中京大学法学部准教授）

コーディネーター

高橋明男（大阪大学アーカイブズ室長、法学研究科教授）



大阪大学社会学共創連続セミナーとは

大阪大学は、近世大阪で市民の資金によって生まれた私塾である懐徳堂と、蘭学者緒方洪庵が開学した私塾適塾を精神的な源流としています。「大阪にも国立大学を」という市民の願いが叶い、1931年に開学した大阪大学は、2021年に創設90周年を迎えます。

この間21世紀懐徳堂、適塾記念センター、総合学術博物館、アーカイブズなどが大阪大学の社会学連携、地域連携活動を積極的に進めてきました。4つの組織は、2017年に統合されて「社会学共創本部」となり、2018年からは、産学共創本部、渉外本部とともに「大阪大学共創機構」となって、さらなる共創を推進しています。これらの先進的な取り組みが評価され、「日経グローバル」が発表した「大学の地域貢献度ランキング2017」において大阪大学は全国1位となりました。

本連続セミナーは、社会学共創の分野において先進的な取り組みを続ける大阪大学が、社会と大学の共創関係について、多様な関係者と共に改めて考え、その実践や成果を広く社会に解放することを目的として開催しております。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

お申込み方法

webフォームまたはファクシミリでお申込みください。ファクシミリの場合は、①お名前（ふりがな）、②FAX番号、③電話番号、④年齢をご記入の上、タイトルを「セミナー申込み」として下記までお送りください。

申込フォーム <https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2019/seminar4>

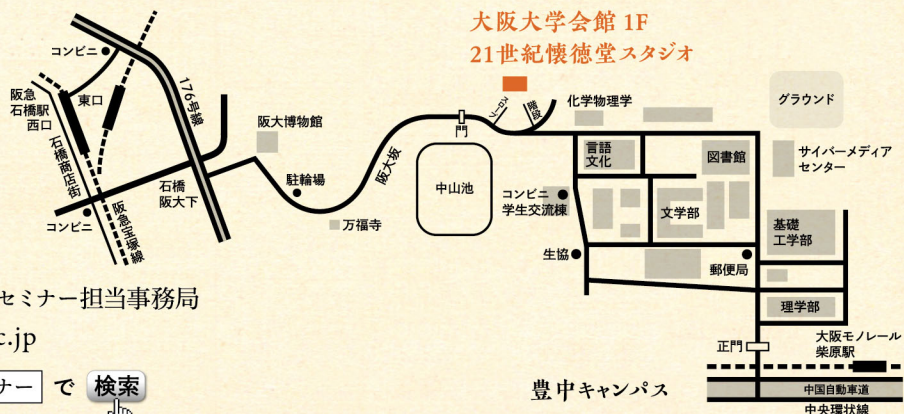
FAX 06-6850-6449



会場

大阪大学会館 1F  
21世紀懐徳堂スタジオ

〒560-0043 豊中市待兼山町1-13



お問合せ

大阪大学共創機構社会学共創本部 セミナー担当事務局

info-ucc@ml.office.osaka-u.ac.jp

21世紀懐徳堂 社会学共創連続セミナー で 検索

豊中キャンパス

大阪モノレール  
築原駅

中国自動車道  
中央環状線